

50代労働者等現役世代の地域活動の促進・普及事業
社会人が参加する地域活動事例及び地域活動支援事例

募 集 要 綱

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国ボランティア・市民活動振興センター

1. 目 的

内閣府の「平成26年度特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査」において、「ボランティア活動に対する関心の有無」を聞いたところ、「関心がある」との回答は62.3%に上るが「過去3年間のボランティア活動の有無」では、「ボランティア活動をしたことがある」との回答は26.8%に留まっています。

定年後の生活で地域活動を考える人が増えるなかで、退職後直ぐに地域生活に参加することは難しく、体験的な参加や事前の学習など一定の準備が必要となることが想定されます。

全国社会福祉協議会は、本年度厚生労働省の委託事業「50代労働者等現役世代の地域活動の促進・普及事業」を受託し、現役の働く世代の地域社会とのつながりを深め、50代の労働者等をメインターゲットとしつつ、働く世代の地域活動への参加を進め、働く世代のボランティア、地域活動への参加促進を図る取り組みの普及を図ることとしています。本事例の募集は、その取り組みの状況を知ると共に、ノウハウを収集するために実施します。

2. 募集対象

「3. 募集する事例」に取り組んでいる組織・団体等であれば、法人格の有無等を問わず、すべての団体に応募していただけます。

応募された組織・団体等には、本委員会の求めに応じて、ヒアリング調査等に協力していただきます。

3. 募集する事例

<1> 50代等現役世代の労働者が参加しているボランティア活動・地域活動の事例

活動の分野や活動内容、頻度は問いません。自治会活動、学校支援活動などの活動も応募できます。社会人に参加を働きかけたり、参加しやすい環境づくりを行ったりしている取り組みを期待します。

【活動の例】

- 職業で得た、知識や技術を活用した活動(プロボノ活動)
- 課題解決型の活動(社会課題など、市民として看過できない課題などの解決を目指す活動。(子どもの貧困、地球温暖化、ニート、子育て支援、高齢者の

孤独や孤立、温暖化、災害支援、など)

- SDGsの目標を実現するために取り組んでいる活動
- 障害のある人とない人の交流などを広げる活動

<2> 50代等現役世代の労働者等のボランティア活動や地域活動への参加を支援・仲介している組織の活動事例

活動の分野や活動内容、頻度は問いません。自治会活動、学校支援活動などの活動も応募できます。社会人に参加を働きかけたり、参加しやすい環境づくりを行ったりしている取り組みを期待します。

- 社会人が地域活動に参加するための支援を行ったり、地域の活動への仲介を行ったり、参加しやすい環境づくりのための支援を行っている団体等の活動
- 都市部においては、社会人の職住分離の状況を踏まえつつ、職場のある地域と生活している地域を結びつけた活動支援を行っている団体等の活動

<3> 50代等現役世代の労働者等のボランティア活動や地域活動への参加を支援・仲介している企業の事例

企業が社員を主な対象として設置している企業ボランティアセンターの活動事例や CSR 活動、CSV 活動の一環として行っている社員や OB のボランティア活動・地域活動を進める事例などの応募を期待します。

4. 募集期間

2020年1月24日～2020年2月14日

5. 活動費の助成について

- 応募いただいた事例の中から、本委員会で作成する「事例集」に取り組みを掲載させていただくことを決定した組織・団体等を対象として、活動費等の助成を実施します。活動費の助成は、上限を20万円とし、本年度に実施した活動を対象とします。対象となる経費は、活動に使用した消耗品の購入費、印刷費、郵送費、車両を利用した場合の燃料費、会場等の借上費用、交通費、講師等の謝礼、担当者の賃金などです。(決算書類等の作成・提出が必要です。)

6. 応募(事例送付)先、問い合わせ先

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター

TEL:03-3581-4656 / FAX:03-3581-7858 / e-mail : vc00000@shakyo.or.jp

(担当:小川、岸本)